

北陸新幹線新駅の駅名

横濱市 中村眞和（直江津町出身）

二〇一五年春の開業に向けて、新駅の駅名を決めるための「駅名等検討部会」が今までに六回開かれており、三二五〇余件の候補を「絞り込みルール」に基づき検討の結果六九件になっている。今後更なる「絞り込みルール」を追加して最終的には一つにしなればならない。

検討部会が自ら決めた当初の条件（応募要領の留意事項）である「地域を総称し、地域をPRする名称で、一〇〇年先も愛される駅名であること。」を尊重し守ることが重要である。提案の中には、応募要領を無視して、「地域を総称する名称」ではなく、「各人の愛着ある地」を提案している例も散見される。検討部会は、それを「地

域を代表する名称」として認めつつあり、自ら公表した条件（留意事項）を変更しようとしているように思える。毅然とした対応を望みます。

上越市に出来る新駅ではあるが、駅の位置が妙高市に近いということもあり妙高市と協力して考えることは大変良いと思う。新駅は、上越市と妙高市の両市全体の中央にあるとも考えられる。したがって、「両市全体の地域を総称する名称」が最も良い。「上越市十妙高市」全体を表す名称としては、「越後」は広すぎる。しかし「直江津」「春日山」「高田」「妙高」などは狭く総称とは言えない。「直江津」「春日山」「高田」「妙高」などは、地元を表す地名であり、並行在来線の駅名として残

すのが良い。今の駅名を変更して混乱を招くこともあるまい。

前述により、地域の広さの観点から、残っている六九件を分析すると、

- ① 人名は、別議論として、
- ② 「越後〇〇」は、「越後の〇〇」と同じ意味ゆえ「〇〇」と同じ。
- ③ 「上越後〇〇」は、「上越後の〇〇」と同じ意味ゆえ「〇〇」と同じ。
- ④ 「頸城（野）〇〇」は、「頸城（野）の〇〇」と同じ意味ゆえ「〇〇」と同じ。
- ⑤ 「上越〇〇」は、「上越（上越後）の〇〇」と同じ意味ゆえ「〇〇」と同じ。
- ⑥ 「新〇〇」は、「新しい〇〇」という意味ゆえ「〇〇」と同じ。

前記①～⑥を考慮すると残った「〇〇」は、八件ほどになる。

- ① 「直江津」「春日山」「高田」「脇野田」「妙高」及びそれらの二つの組合せ
- ② 「上越」「上越後」及び「頸城（野）」「直江津」「春日山」「高田」「脇野田」「妙高」は、「上越市十妙高市」全体の

内の一部分の地域を表す名称として定着しており、どれに決まっても市内に敵を作る（とまでゆかなくとも、積極的な協力者を失う）ことになることが心配される。

「頸城（野）」は、中越地区の柏崎市及び十日町市の一部を含み（旧頸城郡）、上越地区より広い地域を表す名称であり、常用漢字表にない漢字ゆえ好ましくない。

「上越」は、全国からの駅名公募の結果、一二％でトップであり、五〇代以下の若い世代に特に人気がある。「上越」が好ましいのは、既存の駅名と類似せず混乱が起きないという理由もあり。二位（五・三％）以下は一〇％未満であり九〇％以上の人が賛成しているわけではないとも解釈される。



中村眞和さん



「上越」は、応募要領の「地域を総称する名称」にも該当し、各年齢層及び全国各地域の応募者にも人気があり最も適切な名称であるが、残念ながら上越線及び上越新幹線が既にあり、意味（語源）は異なるが利用する国民のことを考えるとJ/Rとしては認めにくい。

①人気投票で決定せず、論理的な考察に基づき、駅名を検討する。

②具体的な絞り込みルールを設定し、そのルールに該当しない名称案をふるい落とす。

③市庁舎を新駅の近くに移動する。

④駅名を正式に承認され確定する。

⑤妙高市と合併して、新駅を中心に発展する。

⑥駅名を正式に承認され確定する。

その後、拡大検討部会又は市議会などの場で、賛成者が過半数になるまで絞り込み、最後まで残った一件を決定とする。この場合、駅名だけで賛否を決めると理由もなく自分の地元に賛成

することが想定されるので、推薦理由を理解したうえで決めることが大切である。市名を変更することは可能であるが、既存の駅名を変更することは非常に難しく、一〇〇年先も愛される駅名であることが大切である。

新幹線の駅名と乗換駅である並行在来線の駅名が同じ方が良いのと同様に、在来線の駅の位置が変わらない各駅の駅名は今までと同じ方が混乱しなくて良い。したがって、並行在来線の駅名と類似の名称を新幹線の駅名に用いない方がより良いことになる。

地元を表す地名を二つ並べた駅名が残っているが、これは「地域を代表する駅名」として認めつつあるためであり、「地域を総称する駅名」ならば二つ並記にはならないであろう。二つの地名を並記した駅名(市名)は、一〇〇年後の人々に「妥協の産物である」と推測されることになるであろう。

「駅名等検討部会」の基本的な考えとして、「地域を総称し、地域をPRする名称で、一〇〇年先も愛される駅名」を検討するために、次の項目を掲げている。

「新駅を中心として発展した新しい地域の新しい地名として適切であること」

(二〇一一年十一月二十五日)



佐渡汽船がね丸(直江津-小木)

2015年春開業! 北陸新幹線 駅名募集!

応募要領

- 応募資格** どなたでも応募できます。
- 応募方法** 1回につき1点の応募とします。何回でも応募できます。
- 応募期限** 専用応募はがき、官製はがき、ホームページからご応募下さい。
- 応募対象** 地域を総称し、地味をPRする駅名で、100年先も愛される駅名であること。
- 応募理由** 駅名を総称し、その理由(地名由来)を必ず記載する(応募用紙の裏面に記入)。
*応募者の住所、氏名、年齢、性別、電話番号、応募コース
- 応募受付先** 〒943-8601 新潟県上越市水町1-1-3
新幹線まちづくり推進上越広域連携推進センター(上越市役所 市民生活課)
ホームページ
http://nshansen-jochu-koki-renshukai.jp/ 新幹線上越広域連携推進センター

応募期限 平成23年9月16日(金)まで
その他 応募いただきました駅名につきましては、随時の参考にさせていただきます。

